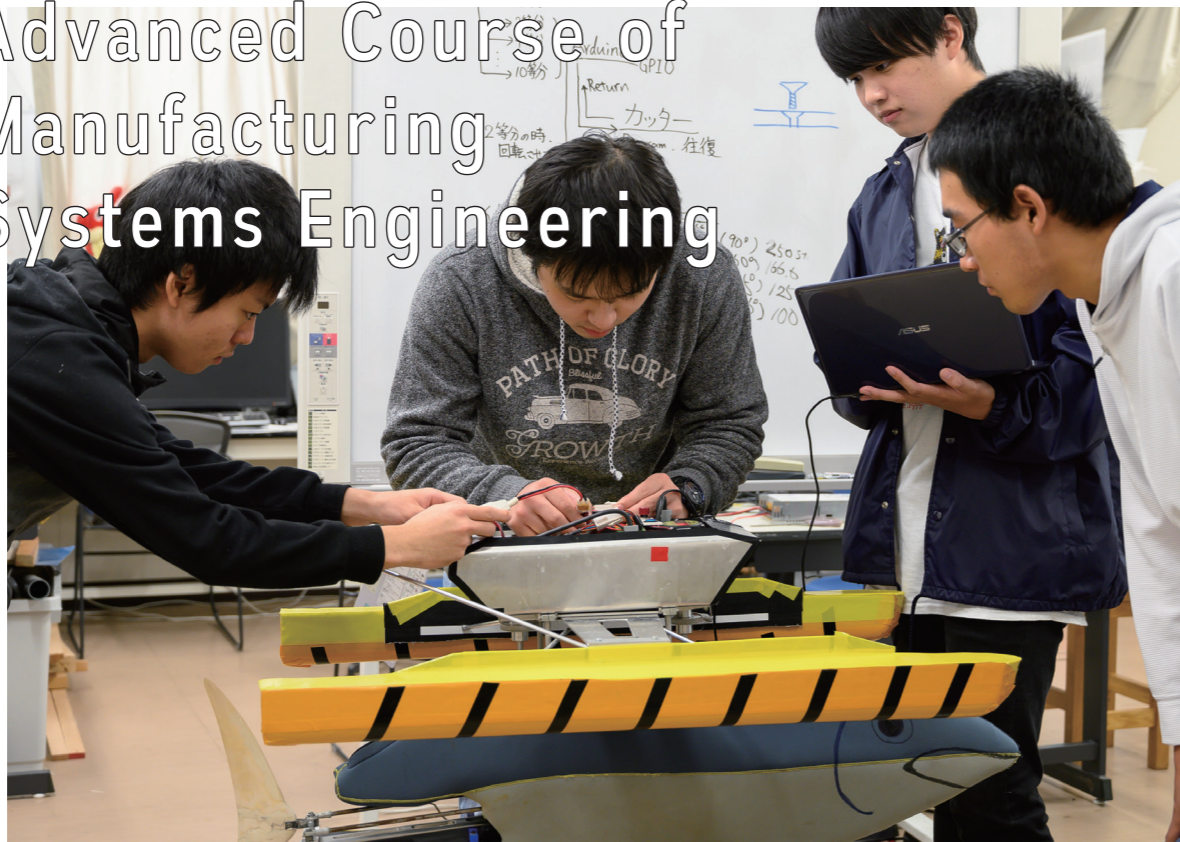


専攻科

生産システム工学専攻

5年間の課程を卒業後、さらに深い教育研究を実施

Advanced Course of Manufacturing Systems Engineering



総合システム工学科とリンクした高度な教育プログラムが充実

高専5年間の課程卒業者が、さらに深く教育研究を行います。高度な専門知識と工学的素養を用いて、幅広い視野からものづくりを考えられる開発技術者の育成を目指し、修了時には学位授与機構の定める一定の要件を満たすことにより、大学卒業資格(学士)を取得できます。

「Voice」

西川 光喜さん

総合システム工学科/機械システムコース

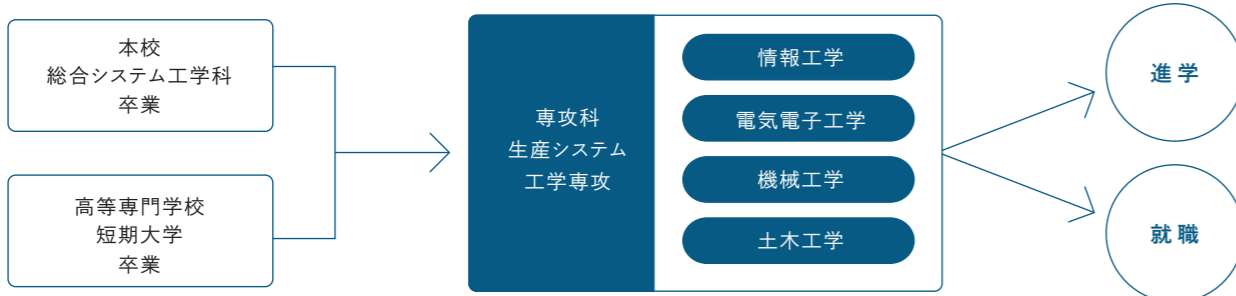
高専で過ごした5年間で生かしていける技術者を目指したい

この学校を選んだ理由は、続けていきたいと考えていた部活と勉強の両立ができることと就職先の幅が広いことでした。入学当初はこれといった夢がなく、進路などをどうするか考えていませんでしたが、実際に高専生活を過ごしていくなかで、専門的な知識なども学び、鉄道関係の道へ進むことを決めました。



トップレベルの教授陣による少人数体制

専攻科の定員は18人。専門科目は、さらに少人数のクラスで講義を受けられます。



専攻科 5つの メリット

少人数体制でのハイレベルな講義

情報工学、電気電子工学、機械工学、土木工学の4つの専攻区分に分かれ、各分野のトップクラスの教授陣が講義します。

大学卒業資格(学士)が取得可能

大学改革支援・学位授与機構の審査を経て、大学卒業の資格である学士が取得できます。

就職に有利

大学卒業生採用枠はもちろん、高専専攻科採用枠で就職することもでき、通常の大学より有利です。

大学院進学が可能

情報工学、電気電子工学、機械工学、土木工学の専門知識と、取得する学士を基に各分野の大学院への進学が可能です。

経済的負担の軽減

通常の4年制私立大学と比較して、学費が抑えられます。(専攻科2年間の学費計:約237万円)

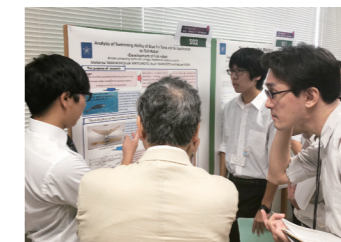
入学者 受入方針

「専攻科 生産システム工学専攻」は、社会の技術発展に貢献できる開発型技術者の育成を目指しています。この目標を達成するために、専攻科では次のような人の入学を期待します。

- ① 新しい技術や諸問題に関心を持ち、継続的かつ自主的に考える姿勢がある人
- ② 工学の基礎的学力を有し、ものづくりに意欲をもって取り組める人
- ③ 技術的な問題点の解決や、考えたことを実現し、社会で活躍したい人
- ④ コミュニケーション能力があり、チームで諸問題に対応できる人

高度な専門知識と技術の修得が可能

専攻科 生産システム工学専攻は、高等教育機関が行う技術者教育が社会の要求水準にマッチし国際的に通用するものかを審査する「日本技術者教育認定機構」(JABEE) 審査において、2007年度JABEE認定を取得。本校の技術者教育が国際水準にあることが認定されました。



5年間の主な進学先

(2018年3月卒~2021年3月卒)

- 長岡技術科学大学大学院
- 豊橋技術科学大学大学院
- 奈良先端科学技術大学院大学
- 近畿大学大学院
- 立命館大学大学院

5年間の主な就職先

- ㈱小松製作所
- 三井住友建設(株)
- ダイハツ工業(株)
- スズキ(株)
- 村田機械(株)
- 芝浦機械(株)
- 東芝キャリア(株)
- ㈱日立ビルシステム
- オムロンソーシアルソリューションズ(株)
- パナソニック(株)
- NTT東日本グループ

